

セキュリティソフトにおけるデキスパートの除外設定

[ESET (SMART SECURITY6)の場合]

※この資料は ESET SMART SECURITY6 の画面を元に作成しております。

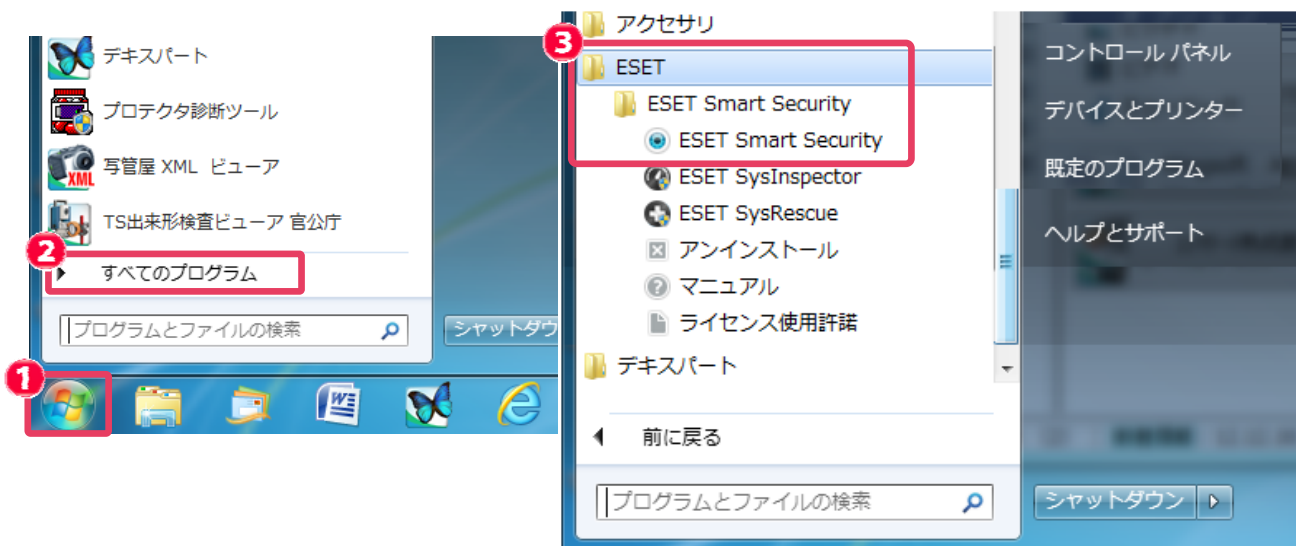
バージョンが異なる場合や、NOD32 をご使用の場合は、レイアウトやボタンの配置、操作方法が異なる可能性がございます。

参考資料として捉えていただき、詳細な手順が不明な場合は、各セキュリティソフトメーカーへお問い合わせください。

※本文中で登場するシステム名、製品名は、一般の各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

<トラブル対処> 「ESET (SMART SECURITY6)」の除外設定について

1. スタートメニューから「すべてのプログラム」→ [ESET] → [ESET Smart Security] → [ESET Smart Security] を起動します。



補足：デスクトップ画面右下のタスクトレイのアイコンー右クリックからも起動できます。



2. ESET SMART SECURITY のメイン画面が表示されます。

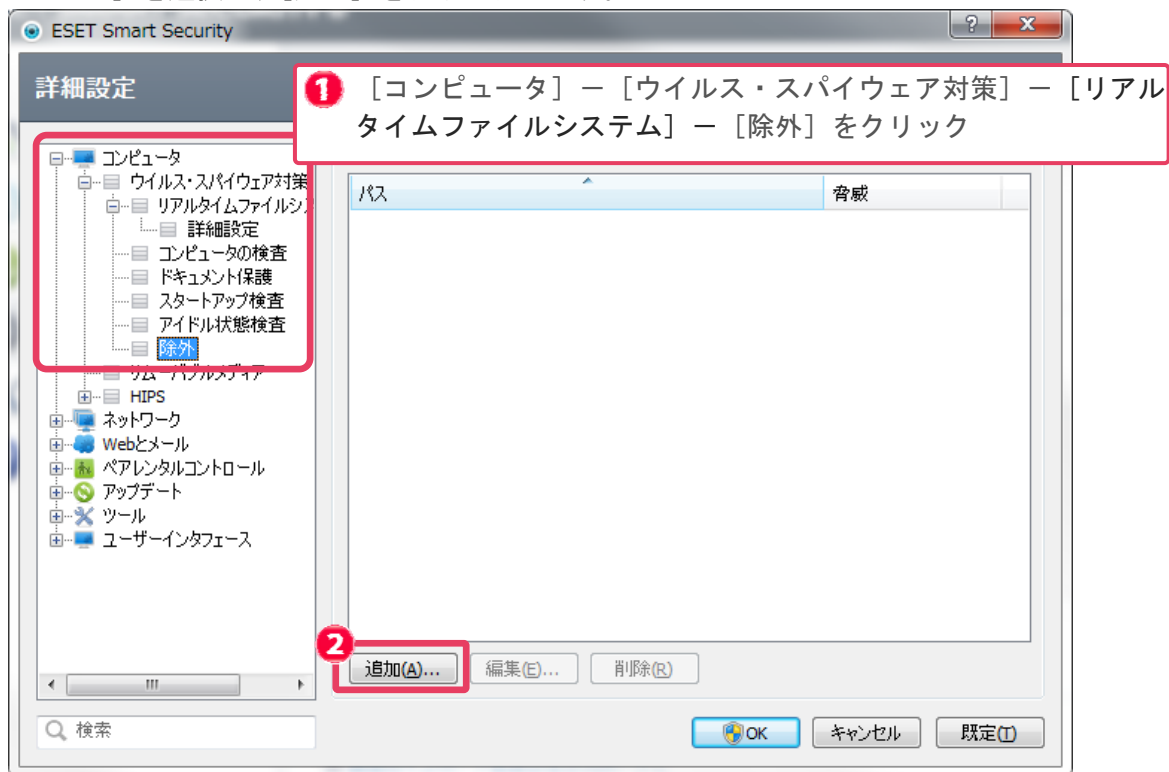
[設定] をクリックします。



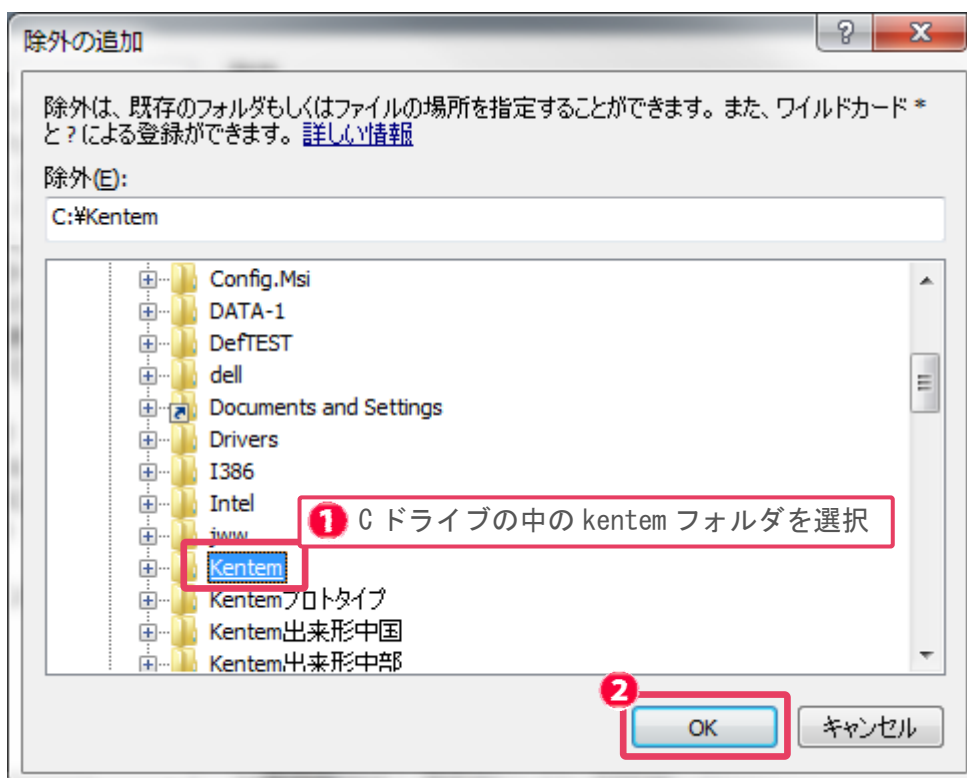
3. 画面を下にスクロールし、[詳細設定を表示する] をクリックします。



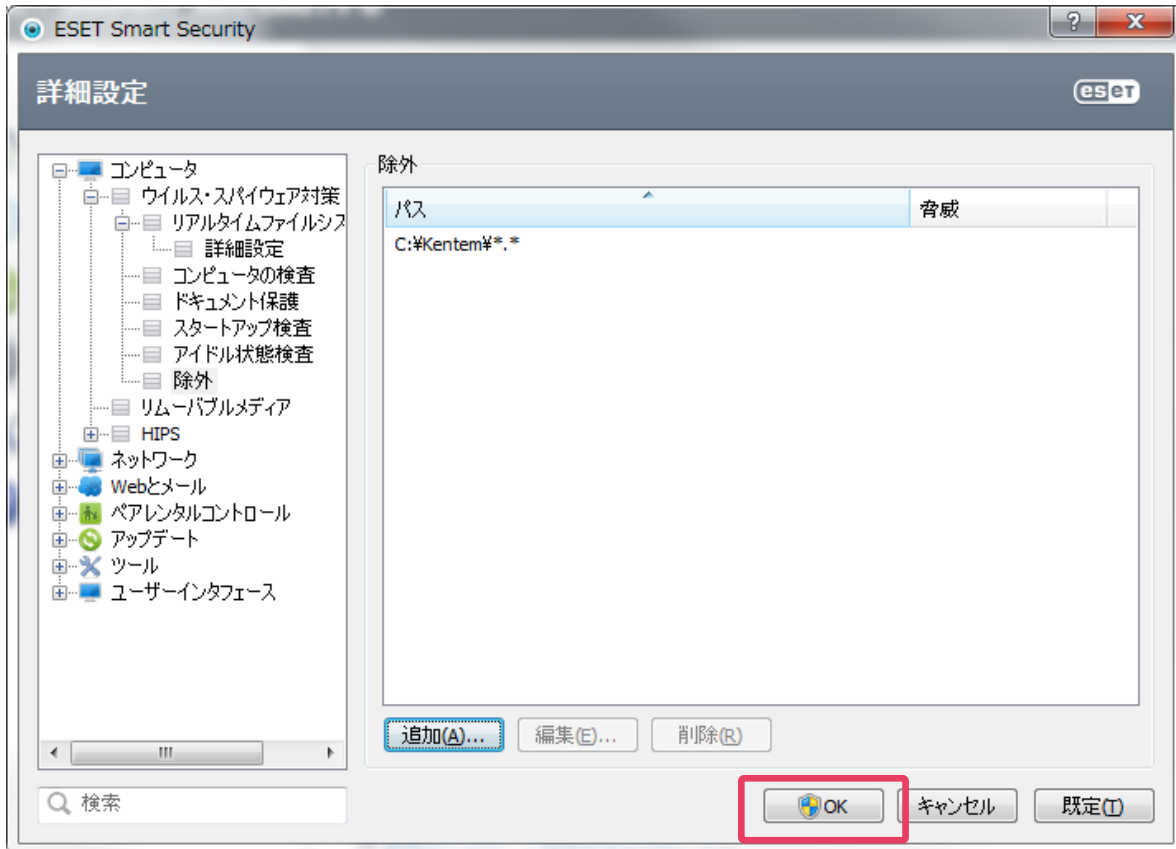
4. [コンピュータ] - [ウイルス・スパイウェア対策] - [リアルタイムファイルシステム] - [除外] を選択し、[追加] をクリックします。



5. デキスパートのインストールフォルダ（初期値は C:\%kentem%フォルダ）を選択し、[OK] をクリックします。



6. [OK] をクリックします。



6. 以上で ESET Smart Security における除外設定は完了です。